

小学生の部 入選③

飛驒市立古川小学校 六年 平田 旬

ぼくはこの夏休み中にとってもこわい経験をしました。

八月二十日、一番上の姉を送りに家族みんなで大阪まで行きました。昼すぎに家を出ました。途中のサービスエリアで休んでトイレ休けいをした後、エアコンの風がぬるいと感じました。でもその時は何も思わず車は走りました。

夕方、大阪市内に入り、道路もすごく混んできました。お中がすいていたのでお父さんに「夕ごはん食べたい」と話しをしたら車のパネルランプやガソリンのメーターがつかったり、消えたりして、それを繰り返していたと思ったら、車がとまってしまいました。お父さんが危険を感じて、とまる寸前に車を左はしによせましたが、信号機の二十メートルくらい手前の所で、とまってしまいました。

ハザード、ランプも全部とまってしまい、後ろからくる車のついとつや、事故をふせぐためにお母さんと交通誘導をしました。ぼくも危なくない所に立ち、手をふって誘導しました。しばらくすると警察がきてくれてかわりに誘導してくれました。「トンネル内や雨の日じゃなくて、良かったね。」「気をつけて帰ってね。」「事故につながらずよかったね。」「と優しく話してくれて、ホッとして力がぬけたのを今でも忘れません。

とてもこわい思いをしたけど、色々な仕事の人との関わりをして、こんな仕事もあるんだな（レッカーで車を移動させる。）（保険会社の人と連絡をする。）など勉強になりました。みんなが無事に帰ってくる事ができて本当に良かったです。

車は車検をうけたばかりで、安心して乗っていたけど年数が経っていること、きよりをたくさん走っていることなどで、電気系統の故障につながったと言われました。

ぼくも大きくなったら免許をとる事になる日がくると思うけど、毎日のように使う車なので、安心安全に気をつけようと思いました。